

和太鼓物語

NO.1

調べようと思、たき、かけ

私は、実際太鼓を習、ています。でも、太鼓の作り方や、太鼓の歴史などは、全く知りませんでした。

たけど、太鼓をたたいているとたんたん作り方などに興味を持つようになりました。せがら調べてみようと思、いました。

太鼓の歴史

① 太鼓の始まり

物をたたいて音を出すということは、おそらく人類出現と、ほぼ同時期に始まったであろうと推測されています。

最初は仲間を集めたり、何らかの情報を伝えるための通信手段として使われ、それが、儀式などにも利用されるようになった。

② 日本の太鼓

・ 6世紀頃

古墳から、太鼓を持、たはにわが発掘されています。

・ 5～7世紀頃

朝鮮半島から来た人が、音楽を奏でたという記録があります。

・ 13～16世紀

物まね芸や、歌やおどりを演じる芸能が、発達しそのおはやしに使われた。

・ 江戸時代

カ不きが流行し、その伴奏音楽として使われ、また、日本各地の民族芸能や祭礼でも、大小、様々な種類の太鼓が使われています。

・和太鼓が出来るまで

① 太鼓の胴になる原木



② 原木をけずっておおまかな形を作る



③ 中をくりぬいた状態



④ 牛皮をなめし太鼓にはる前の状態



⑤ 太鼓の胴に皮をはりつけた状態



⑥ 最後にひょうもうちつけ完成

・和太鼓の種類



・長胴太鼓

盆踊りやお祭り・粗太鼓などでの演奏等、もっとも一般的な太鼓です。



・木桶胴太鼓

金矢リングにめいつけられた皮を、木桶の胴にロープで張った太鼓です。



・しめ太鼓

はやしなどの主に拍子に使われる太鼓です。



・平太鼓

長胴太鼓のような長い余韻が残り、低音気口琴の音質をもっています。



・うちわ太鼓

リングにめいつけた皮を柄につけた太鼓です。

牛の1枚皮を使った世界の和太鼓



直径が3.7mあります。

・まとめ

① 新しい発見

和太鼓の音がどこまでとどくのか実験したら4km先まで聞こえたそうです。(モンゴルの草原)

太鼓の皮は牛ばかりではなく馬の皮で作、ちものもありました。

ギネスブックにのっている世界一の大太鼓は、日本にあります。

② 感想

私は、調べてみて一番感じたことは、1本の木と1頭の牛によ、て太鼓は作られていると思うと、太鼓は生き物のような感じがしてきました。

和太鼓を作る人も機械ではなく手づくりなので時間もかかり大変なことかと思いました。

これからは、太鼓を打つ時も今までとはちが、ち気持ちで打てそうです。

※ 参考にした資料

インターネット

※ お世話にな、ち人

大柄太鼓店(大柄重人さん)



